

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	会計	款	項	目	細目	細々目
	0074	交通計画推進事業					01	02	01	06	122	56
	事業名	0074	交通計画推進事業	所属	040100	企画財政部企画課	連絡先(記入者) 森 健至 22 - 9621					
基本施策	51	市内交通機関の利便性を高める										

概要	事業概要	平成23年度策定の伊賀市交通計画(計画期間平成23年度～平成26年度)のアクションプラン(施策一覧)に基づき、バス交通施策及び鉄道施策の取り組みを行う。計画の策定、進行管理のため、市長の附属機関である伊賀市交通計画協議会を設置し、進捗状況の確認等を行っている。						事業期間 平成 23 年度 ～ 平成 26 年度				
	根拠法令・要綱等	伊賀市交通計画協議会条例			審議会・委員会等		伊賀市交通計画協議会					
補助金支出	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号				1	3
対象(誰を、何を)	市民及び市内公共交通利用者			※対象件数		単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値		
成果(どうする)	市内公共交通が抱える課題解決のため、市交通計画に位置付けた各種施策に取り組み、持続可能な交通体系を形成する。											
H24実施内容	伊賀市交通計画のアクションプラン(施策一覧)に基づき、バス交通施策及び鉄道施策の実施及び検討に取り組んだ。伊賀市交通計画協議会を2回開催し、計画の進捗状況の確認等、進行管理を行った。 【H24の主な実施施策】 ・上野コミュニティバス「しらさぎ」北回り循環系統の新設及び外回り循環系統の便数適正化・各行政サービス巡回車等の運行改善に向けた検討及び実施に向けた手続き着手・きじが台地区への美旗地域コミュニティバスの乗り入れに係る運行補助 ・伊賀線等市内鉄道路線の活性化及び利用促進に係る施策の実施・モビリティ・マネジメント、公共交通利用促進期間の取り組み											

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明
			H23	H24	H25	H26			
活動指標	交通計画協議会(部会含む。)の開催件数	回	目標	2.0	目標	2.0	6.0	9.0	
			実績	1.0	実績	2.0			
成果指標	交通計画施策着手件数(計画通り進んでいるもの 累計)	件	目標	44.0	目標	45.0	45.0	45.0	
			実績	33.0	実績	40.0			

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。								特記事項記入欄(特定財源の名称等)
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額		
[収入]	使用料・手数料									
	国費(補助率)									
	県費(補助率)									
	地方債									
	その他									
	合計(A)	0	0	0	0	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)
[支出]	交通計画協議会委員報酬	66	126	360	540	144	144	360		きじが台地区へのコミュニティバス運行補助金はH25以降地域交通対策事業に
	旅費	27	39	116	220	72	72	116		
	業務委託料			2,769	3,000			2,769		
	印刷製本費									
	その他	53	149	252	475	236	236	252		
	きじが台地区運行補助金		150							
	その他事務経費									
	小計(B)	146	464	3,497	4,235	452	452	3,497	特記事項記入欄(有資格者の状況等)	
人件費	正規職員	人数	0.5人	0.5人	1.0人	1.5人	0.5人	0.5人	1.0人	
		人件費	2,841	2,889	5,777	8,666	2,889	2,889	5,777	
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数								
		人件費								
	小計(C)	2,841	2,889	5,777	8,666	2,889	2,889	5,777		
	合計(D=(B+C))	2,987	3,353	9,274	12,901	3,341	3,341	9,274	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)	
[収支]	一般財源充当額(D-A) (うち繰越金)	2,987	3,353	9,274	12,901	3,341	3,341	9,274		
	※前年度比	—	366	5,922	3,627	△ 9,560	0	5,934		
	対象者あたり一般財源充当額									

必要性	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担できず、これを補完する事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
伊賀市の交通政策の方向性を定めることができない。	(概ね)順調		
関与の妥当性	協働の状況など		
実施方法(該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)	負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
	委託・指定管理(非公募・随意)	○ 直接実施(契約・交付事務を除く)	
昨年度記載した改善策	企画課所管の施策については、着実に実施に向けて取り組むとともに、平成26年度までに全ての施策が計画どおり実施されるよう毎年度、進行管理に努める。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。 昨年度は計画期間の2年度目となり、検討、調整段階から施策を具体化したものを増やすことができた。中には未着手の施策や検討着手のみとなったもの、地元協議により、課題解決のための方法が変わったものがあったが、進行管理に努めた結果、総じて計画どおり進めることができた。
現時点における課題及び課題に対する改善策	交通計画に位置付けた施策の数が多く、全市的に実施する必要があることから、引き続き支所振興課と情報共有を図りつつ連携して取り組む必要がある。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	藤山 善之	現状維持	計画に位置付けた基本方針、施策内容に従い、アクションプログラムに沿って、引き続き施策の具体化に取り組む。また、併せて、平成27年度以降の次期計画策定に向けた調査検討についても、協議会に諮りながら準備していく。

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	会計	款	項	目	細目	細々目
	0075	地域公共交通会議運営経費					01	02	01	06	122	57
	事業名	0075	地域公共交通会議運営経費	所属	040100	企画財政部企画課	連絡先(記入者) 森 健至 22 - 9621					
基本施策	51	市内交通機関の利便性を高める										

概要	事業概要	バス等による乗合旅客運送の態様及び運賃、料金等、道路運送法により合意を要する事項その他地域公共交通会議が必要と認める事項について協議を行うもの。						事業期間				
			平成	年度	～	平成	年度					
	根拠法令・要綱等	道路運送法第9条第4項、道路運送法施行規則第9条の2				審議会・委員会等						
	補助金支出	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号				
	対象(誰を、何を)	バス等による乗合旅客運送の態様及び運賃、料金等道路運送法により地域公共交通会議の合意を要する事項				※対象件数		単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値
	成果(どうする)	地域における需要に応じた住民の生活に必要なバス等による旅客輸送の確保その他旅客の利便の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議する。交通事業者、運輸局、警察、県、住民又は旅客、学識経験者等で構成し、市が運行する行政バスなど市町村有償運送の登録、変更などの手続きには道路運送法上必置の会議である。										
	H24実施内容	平成24年度中の会議開催は2回、委員への書面審議2回であった。会議の主な案件は、「上野コミュニティバスしらすぎのルート変更等について」と「行政サービス巡回車の運行変更について等」、書面審議の主な案件は、「美旗コミュニティバスはたっこ号の運行時刻変更と増便について」と「比自岐コスモス号を含む行政サービス巡回車の運賃体系について」であり、全て合意を得ることができた。										

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明
			H23	H24	H25	H26			
活動指標	会議開催回数	3	目標 3.0 実績 2.0	目標 3.0 実績 2.0	3.0	3.0			
	成果指標	協議成立率	%	目標 100.0 実績 100.0	目標 100.0 実績 100.0	100.0	100.0		

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額	
[収入]	使用料・手数料								
	国費(補助率)								
	県費(補助率)								
	地方債								
	その他								
	合計(A)	0	0	0	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)
[支出]	委員報酬	48	60	108	108	108	108	108	
	旅費	21	21	23	23	23	23	23	
	その他	20	6	8	8	8	8	8	
	その他事務経費								
		小計(B)	89	87	139	139	139	139	139
[人件費]	正規職員	人数 0.3人	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人	
	人件費	1,705	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733	
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数 人	人	人	人	人	人	人	
	人件費								
	小計(C)	1,705	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733	
	合計(D=(B+C))	1,794	1,820	1,872	1,872	1,872	1,872	1,872	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)
[収支]	一般財源充当額(D-A) (うち繰越金)	1,794	1,820	1,872	1,872	1,872	1,872	1,872	
	※前年度比 対象者あたり一般財源充当額	—	27	52	0	0	0	0	

必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
法定の会議(道路運送法に根拠を有する)であるため、廃止はできない。	(概ね)順調		
関与の妥当性	協働の状況など		
実施方法(該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)	負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
	委託・指定管理(非公募・随意)	○ 直接実施(契約・交付事務を除く)	
昨年度記載した改善策	市町村有償運送の新設、運賃及び経路の変更など必要が生じた際、その都度、会議を開催するものであるが、単に手続のための会議ではなく、より議論が深まるような会議運営ができるよう、今年度以降はしっかりした事前の情報提供等に努める。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。 委員への資料の事前配布に努めた。また、合意を要する案件のみならず、市内公共交通全体について議論できるように配慮した。
現時点における課題及び課題に対する改善策	引き続き、単に合意手続のための会議ではなく、より議論が深まるような会議運営ができるよう、事前の情報提供等に努める。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	藤山 善之	現状維持	法定会議であり、付議案件の必要に応じ開催する。

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分 コード	会計 01	款 02	項 01	目 06	細目 125	細々目 51
	事業名	0078										
	基本施策	51	市内交通機関の利便性を高める	所属	040100	企画財政部企画課 地域政策係	連絡先(記入者) 久保 敦美 22 - 9621					

概要	事業概要	・上野コミュニティバス「しらさぎ」運行に関する経費				事業期間						
						平成 24 年度 ~ 平成 24 年度						
	根拠法令・要綱等	・道路運送法第4条				審議会・委員会等		・伊賀市地域公共交通会議、伊賀市交通協議会				
	補助金支出	※支出“有”の場合要綱を記入				分掌事務番号						
	対象(誰を、何を)	・市民、観光客				※対象 件数	単位		H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値
成果(どうする)	・上野市街地住民の生活路線であり、周辺地域から伊賀鉄道や廃止代替バスによって中心市街地へ集まる市民の移動手段として機能する。											
H24 実施 内容	・伊賀市交通計画に基づき、現行の運行ルートの見直しと、中心市街地と北方面の商業施設、医療機関等とを結ぶ「北回り循環」を平成24年8月15日から新設し、市民ニーズへの対応を行うことにより、上野コミュニティバスの利用者を増加させ、さらなる中心市街地の活性化を図った。											

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明	
			H23		H24		H25	H26		
	活動指標	・1日あたりの運行便数	回	目標	22.0	目標	22.0	24.0	24.0	
				実績	22.0	実績	24.0			
成果指標	・年間利用者数	人	目標	26,000.0	目標	26,000.0	26,000.0	26,000.0		
			実績	23,970.0	実績	24,665.0				

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)	
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額		
[収入]	使用料・手数料	4,706								
	国費 (補助率)									
	県費 (補助率 0.6%)	1,592	1,200	800	0	0	0	0	25年度で補助金の廃止	
	地方債									
	その他									
	合計(A)	6,298	1,200	800	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)	
[支出]	経常経費	29,495	25,910	25,057	25,050	25,050	25,050	28,000	・経常経費から経常収入を引いた額が、運行委託料となる。	
	小計(B)	29,495	25,910	25,057	25,050	25,050	25,050	28,000		特記事項記入欄(有資格者の状況等)
人件費	正規職員	人数	0.4人	0.4人	0.4人	0.4人	0.4人	0.4人		
		人件費	2,273	2,311	2,311	2,311	2,311	2,311		
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数	人	人	人	人	人	人		
		人件費								
	小計(C)	2,273	2,311	2,311	2,311	2,311	2,311	2,311		
	合計(D=(B+C))	31,768	28,221	27,368	27,361	27,361	27,361	30,311	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)	
[収支]	一般財源充当額(D-A)	25,470	27,021	26,568	27,361	27,361	27,361	30,311		
	(うち繰越金)									
	※前年度比	—	1,551	△ 453	793	0	0	2,950		
	対象者あたり一般財源充当額	1,062.6	1,013.5	1,057.5	1,077.1	—	—	—		

事後評価	必要性	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
	有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
		・自ら移動手段を持たない高齢者などの日常生活に障害がある。	(概ね)順調	
	効率性	※事業を行うにあたって非効率な点(実施主体、システム等)		
		・道路運送法上、路線認可を受けた事業者でないと、輸送業務が出来ないため、現状では三重交通株式会社の独占となり、競争が発生しない。		
	関与の妥当性	利用者が減少するなど市民のニーズが低下、あるいは市民ニーズに比較してサービスの供給が過剰となっている事務事業	協働の状況など	・運行委託事業者(三重交通株式会社)と随時、調整、協議、改善を図り、運行経費の圧縮及び利用者ニーズに対応している。
	実施方法(該当するもの全て)	<input type="radio"/> 委託・指定管理(公募・競争)	負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
		<input type="checkbox"/> 委託・指定管理(非公募・随意)	直接実施(契約・交付事務を除く)	【指名競争入札】 三重交通株式会社
昨年度記載した改善策	・利用者の減少は依然として続いており、厳しい状況である中で、市民ニーズに対応した北回り循環の運行開始により、上野コミュニティバスの利用者を増加させ、さらなる中心市街地の活性化をめざす。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。 ・平成24年8月15日北回り循環運行開始 ・北回り循環が実証実験運行として運行開始し、存続基準の1便あたり1人を上回る1.23人の継続できる乗車率であるため、平成25年度も引き続き実証実験運行を行う。	
現時点における課題及び課題に対する改善策	・利用者の減少は依然として続いており、厳しい状況である中で、市民ニーズに対応した北回り循環の運行開始により、上野コミュニティバスの利用者を増加させ、さらなる中心市街地の活性化をめざす。			
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由	
	藤山 善之	現状維持	・北回り循環運行による実証実験結果を基に、次の伊賀市交通計画案及び運行計画の見直しを行う。	

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	会計	款	項	目	細目	細々目
	0079	行政バス運行経費					01	02	01	06	125	51
	事業名	0079	行政バス運行経費	所属	550100	伊賀支所振興課	連絡先(記入者) 中原 康雅 45 - 9111					
基本施策	51	市内交通機関の利便性を高める										

概要	事業概要	地域住民の生活交通手段の確保と住民福祉の向上に資するため、いがまち行政サービス巡回車の自主運営を行い、適正な維持管理に努める。						事業期間					
								平成	16	年度	～	平成	年度
	根拠法令・要綱等	道路運送法第79条				審議会・委員会等							
	補助金支出	無 ※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号		16			17
	対象(誰を、何を)	交通空白地帯における市民				※対象件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値		
						人	8,503	7,163	9,000	9,000			
	成果(どうする)	通学、通院、通勤等の移動手段の確保する。											
	H24実施内容	柘植・西柘植線、西柘植・壬生野線、希望ヶ丘線の3路線で、1日19便の運行。 直営方式(自主運行)で、29人乗り1台と15人乗りバス1台で、日曜日・祝日・年末年始を除き、毎日運行した。											

指標	項目	単位	実績値		目標値		説明		
			H23	H24	H25	H26			
活動指標	運行便数(1日当たり)	便	目標	19.0	目標	19.0	18.0	17.0	平成25年6月1日より土曜日運行の廃止と運行便数の変更を行う。
			実績	19.0	実績	19.0			
成果指標	年間利用者数	人	目標	9,000.0	目標	9,000.0	9,000.0	9,000.0	いがまち行政サービス巡回車の年間利用者数
			実績	8,503.0	実績	7,163.0			

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額	
[収入]	使用料・手数料	1,415	1,210	1,440	1,400	1,400	1,400	1,400	行政サービス巡回車使用料
	国費(補助率 0.55%)			2,095	2,095				社会資本整備総合交付金(行政バス購入)
	県費(補助率)	2,455	1,856						市町村自主運行バス運行費補助金
	地方債			1,600					バス等対策事業
	その他								
	合計(A)	3,870	3,066	5,135	3,495	1,400	1,400	1,400	特記事項記入欄(積算基礎等)
[支出]	報酬								・報酬、共済費については、行政バス運転手(嘱託職員の人件費) ・平成25年度・平成26年度で行政バス(14人乗り)各1台を購入予定 ・平成26年度よりいがまち行政サービス巡回車運行業務委託予定
	共済費								
	消耗品費	449	474	603					
	燃料費	1,813	1,915	2,115					
	修繕料	138	251	200					
手数料	24	54	127						
車両購入費			3,810	3,810					
運行業務委託料				14,640	14,640	14,640	14,640		
	その他事務経費			32	600	500	500	500	
	小計(B)	2,424	2,694	6,887	19,050	15,140	15,140	15,140	特記事項記入欄(有資格者の状況等)
人件費	正規職員	人数	0.7人	0.7人	0.7人	0.7人	0.7人	0.7人	嘱託職員(行政バス運転手):大型2種免許取得者または、大型1種免許取得者で市町村運営有償運送等運転者講習修了した者
		人件費	3,977	4,044	4,044	4,044	4,044	4,044	
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数	5.0人	5.0人	5.0人	人	人	人	
		人件費	7,996	8,057	8,480				
	小計(C)	11,973	12,101	12,524	4,044	4,044	4,044	4,044	
	合計(D=(B+C))	14,397	14,795	19,411	23,094	19,184	19,184	19,184	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)
[収支]	一般財源充当額(D-A)	10,527	11,729	14,276	19,599	17,784	17,784	17,784	
	(うち繰越金)								
	※前年度比	—	1,202	2,547	5,323	△ 1,815	0	0	
	対象者あたり一般財源充当額								

必要性	5. 市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
	公共交通機関空白地域の交通手段と高齢者等の交通弱者の移動手段が無くなり、日常生活に不便が生じる。	(概ね)順調	
関与の妥当性	協働の状況など		
実施方法(該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)	負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
	委託・指定管理(非公募・随意)	○ 直接実施(契約・交付事務を除く)	
昨年度記載した改善策	24年度または、25年度から委託実施できるように交通計画等の見直しをする。(住民からの要望の把握と住民へのバス利用促進)	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいない。 平成25年6月1日より新路線ルートによる行政バス運行業務実施の中で、利用状況を踏まえた路線ルートの見直しを行い、平成26年度行政バス運行業務委託を実施する。
現時点における課題及び課題に対する改善策	行政バスの自主運行は、いがまち行政バスと阿山行政バスのみである。 行政バス運転手の高齢化による人員確保に苦慮している状況と安全運転管理並びに緊急時の対応に苦慮していることから、市一本化した行政バス運行業務委託を実施する必要がある。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	藤澤 義彰	民間委託	行政バス利用者へのサービス向上と安心安全な運行管理ができる。

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	会計	款	項	目	細目	細々目
	0080	行政バス運行経費					01	02	01	06	125	51
	基本施策	51	市内交通機関の利便性を高める	所属	600100	島ヶ原支所振興課	連絡先(記入者) 谷口順一 59 - 2053					

概要	事業概要	公共交通機関空白地域の生活手段の確保と、高齢者等交通弱者の移動手段を確保するため、行政バスを運行する。						事業期間			
								平成 23 年度	～ 平成 29 年度		
	根拠法令・要綱等	伊賀市交通計画				審議会・委員会等					
	補助金支出	無	※支出“有”の場合要綱を記入					分掌事務番号			
	対象(誰を、何を)	市民 児童・生徒				※対象件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値
					人	6,217	6,251	6,300	6,300		
成果(どうする)	行政バスを運行することにより、公共交通機関空白地域の生活手段の確保と、高齢者等交通弱者の移動手段を確保する。										
H24実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・1日8便の運行を行った。 ・公共交通機関の空白地域である山菅・不見上区に行政バスを運行し、移動の確保と高齢者等交通弱者の移動手段の確保を行った。また、遠距離通学の児童・生徒の通学手段の確保を行った。 ・JR島ヶ原駅での乗り継ぎ客の利便性を図るため、運行時刻の見直しを行った。 										

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明
			H23		H24		H25	H26	
	活動指標	利用料金	円	目標 1,098,000.0	実績 950,200.0	目標 1,000,000.0	実績 885,100.0	1,000,000.0	1,000,000.0
成果指標	収支率	%	目標 30.0	実績 23.2	目標 30.0	実績 21.6	30.0	30.0	運行経費を分母とし、行政バスの利用料を分子とする収支率を指標とする。

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。								特記事項記入欄(特定財源の名称等)
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額		
[収入]	使用料・手数料									
	国費 (補助率)	1,864								
	県費 (補助率)	587	476	0	0	0	0	0	0	
	地方債									
	その他	950	885							
	合計(A)	3,401	1,361	0	0	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)
[支出]	バス運行経費	4,095	4,095	4,186	4,186	4,186	4,186	4,186	4,186	
	車両購入費	3,643								
	その他事務経費									
	小計(B)	7,738	4,095	4,186	4,186	4,186	4,186	4,186	4,186	特記事項記入欄(有資格者の状況等)
	人件費	正規職員	人数	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人
	人件費	568	578	578	578	578	578	578	578	
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数	人	人	人	人	人	人	人	
	人件費									
	小計(C)	568	578	578	578	578	578	578	578	
	合計(D=(B+C))	8,306	4,673	4,764	4,764	4,764	4,764	4,764	4,764	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)
[収支]	一般財源充当額(D-A)	4,905	3,312	4,764	4,764	4,764	4,764	4,764	4,764	
	(うち繰越金)									
	※前年度比	—	△ 1,594	1,452	0	0	0	0	0	
	対象者あたり一般財源充当額									

必要性	5. 市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
高齢者等交通弱者の移動手段、また、遠距離通学の児童・生徒の通学手段の確保ができない。		やや遅れ	
効率性	※事業を行うにあたって非効率な点(実施主体、システム等)		
	不採算ではあるが、住民が利用しやすい、身近な公共交通として利用促進及び確保が必要。		
関与の妥当性	協働の状況など		
実施方法(該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)	負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
	委託・指定管理(非公募・随意)	直接実施(契約・交付事務を除く)	
昨年度記載した改善策	伊賀市交通計画の策定に併せて新たな施策を検討すると共に、運行のあり方についても検討しながら、新たな交通体系の構築をめざす。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。 交通弱者の交通手段の確保、交通空白地域の解消を図るため、地域住民の要望にあったバスの運行が求められている。該当地区の区長により、住民要望のとりまとめを行っている。
現時点における課題及び課題に対する改善策	交通弱者である高齢者や児童生徒にとっては、なくてはならない交通手段であり、不採算ではあるが、維持を目指し、利用促進、利用者確保に努める。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	振興課長 橋本忠大	現状維持	公共交通機関空白地域の生活手段の確保と交通弱者である高齢者、児童、生徒の移動手段の確保を行うため、現状維持とするが、今後利用客の動向等をみながら交通計画の見直しが必要である。

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	01	02	01	06	125	51
	事業名	0081 行政バス運行経費	所属	コード	名称	連絡先(記入者)						
	基本施策	51 市内交通機関の利便性を高める	650100	阿山支所振興課	中川真吾 43 - 1543							

概要	事業概要	基幹バスとして三重交通が上野産業会館～阿山支所間を1日8往復しているが、阿山支所から主に北部地域については交通空白地域となっている。これらを補完するため、地域アクセスバスとして阿山行政サービス巡回車を運行させている。						事業期間 平成 16 年度 ~ 平成 年度					
	根拠法令・要綱等	道路運送法、伊賀市行政サービス巡回車の運行及び管理に関する条例			審議会・委員会等		伊賀市地域公共交通会議、伊賀市交通計画協議会						
	補助金支出	無	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号 16 17				
	対象(誰を、何を)	公共交通機関の空白地域での、特に交通手段を持たない市民						※対象件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値
	成果(どうする)	生活交通手段を確保する。(特に高齢者等の交通弱者移動手段を確保する。)											
H24実施内容	直営で10人乗りバス1台と15人乗りバス2台で6路線を交互運行した。												

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明	
	活動指標	1日当たりの運行便数	便	H23		H24		H25		H26
				目標	25.5	目標	25.5	28.5		28.5
成果指標	年間利用者数	人	目標	6,500.0	目標	6,500.0	6,590.0	6,590.0		
			実績	5,793.0	実績	5,623.0				

コスト	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。											
	[収入]	項目	H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額	特記事項記入欄(特定財源の名称等)		
		使用料・手数料	1,008	957	908	900	900	900	900			
	国費 (補助率 0.6%)	1,743		2,094		2,094		2,094				
	県費 (補助率 0.3%)	1,117	848	424					H24年度は一律25%カット H25は廃止予定			
	地方債	1,300		1,600		1,600		1,600				
	その他											
	合計(A)	5,168	1,805	5,026	900	4,594	900	4,594	特記事項記入欄(積算基礎等)			
	[支出]	事業費	車両燃料費	1,526	1,580	1,818	2,200	2,200	2,200	2,200		
			修繕料	237	404	330	400	400	400	400		
消耗品費			34	74	54	70	70	70	70			
手数料			26	13	120	20	20	120	20			
自賠責保険			35		14		14		14			
損害保険			4		12		12		12			
車両購入費			3,174		3,809		3,809		3,809			
重量税			60		4		4		4			
その他事務経費												
小計(B)			5,096	2,071	6,161	2,690	6,529	2,790	6,529	特記事項記入欄(有資格者の状況等)		
[人件費]	正規職員	人数	1.0人	1.0人	1.0人	1.0人	1.0人	1.0人	1.0人	大型もしくは中型(8t限定を解除)の2種免許保有者。市町村運営有償運送等運転者講習修了証の保有者。		
		人件費	5,682	5,777	5,777	5,777	5,777	5,777	5,777			
		臨時・嘱託・再雇用職員	人数	6.0人	6.0人	6.0人	6.0人	6.0人	6.0人			6.0人
		人件費	5,963	5,994	5,995	6,000	6,000	6,000	6,000			
小計(C)	11,645	11,771	11,772	11,777	11,777	11,777	11,777	11,777	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)			
合計(D=(B+C))	16,741	13,842	17,933	14,467	18,306	14,567	18,306					
[収支]	一般財源充当額(D-A)	11,573	12,037	12,907	13,567	13,712	13,667	13,712				
	(うち繰越金)											
	※前年度比	—	464	870	660	145	△ 45	45				
対象者あたり一般財源充当額												

必要性	4. 市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業														
有効性	※廃止したときの影響			達成度				※未達成事項記入欄				効率性		※事業を行うにあたって非効率な点(実施主体、システム等)	
	他に交通手段を持たない高齢者の外出が難しくなる			やや遅れ											
関与の妥当性	3. 国や他の市町と比較したとき、サービスの対象範囲や水準を見直す余地がある事業						協働の状況など								
実施方法(該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)			負担金・補助金・交付金				※委託内容及び委託先の存在							
	委託・指定管理(非公募・随意)			直接実施(契約・交付事務を除く)											
昨年度記載した改善策	協議会で、デマンドバスへの移行が有効であることの具体的なメリットを示し、年度内に実証運行を開始する。						左記改善策への取組状況		【状況】 【詳細】		計画のとおり進んでいない。				
									阿山地区交通運行協議会の中でデマンド運行の提案を行ってきたが、反対の意見が多く、今回の見直しには盛り込むことはできなかった。						
現時点における課題及び課題に対する改善策	モータリゼーションの普及と運転免許保有者の増加で年々バスの利用者は減少している。おそらく、今後、高齢者の中でもこの流れは加速していくものと考えられる。バス交通を市が維持していくのは無駄が多く、福祉有償運送やNPO法人と連携して地域の実情にあったサービスに変えていく必要があると考える。または福祉施策としてタクシーチケット補助などで対応することも考えていくことも考慮すべきである。														
今後の方向性	担当課長氏名		方向性		理由										
	土永 瑞穂		手法改善		現在の運行形態は直営であり経費は安い、安全性、運転手確保などの運営面で限界となっていることから委託へ変更していきたい。										

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	会計	款	項	目	細目	細々目
	事業名	0082 行政バス運行経費					01	02	01	06	125	51
	基本施策	51 市内交通機関の利便性を高める	所属		700100	名称	大山田支所振興課		連絡先(記入者) 西崎 剛人 47 - 1150			

概要	事業概要	平成16年3月31日三重交通路線バス坂下線廃止に伴い、行政サービス巡回車の運行を同年4月から坂下線、大沢線、同年10月から虹ヶ丘線を開始した。平成18年度から虹ヶ丘地区の小学生が通学に使用している。						事業期間 平成 16 年度 ~ 平成 年度					
	根拠法令・要綱等							審議会・委員会等					
	補助金支出	無	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号 17				
	対象(誰を、何を)	公共交通機関の空白地域における市民						※対象件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値
	成果(どうする)	交通弱者の日常生活及び社会生活を営むに当たり円滑に移動することができるようにする。											
H24実施内容	運行路線:坂下、大沢、虹ヶ丘線の3路線 運行回数:坂下、虹ヶ丘線1日3往復 大沢線1日3循環 収支率:14.3%(634千円/4,410千円) 運行業務委託先:三重交通株式会社												

指標	活動指標	項目	単位	実績値				目標値		説明
				H23		H24		H25	H26	
	成果指標	年間利用者数	人	目標	15	目標	15	12		H25.6.1から虹ヶ丘線を循環型に変更するため便数としては減。
				実績	15	実績	15	12		
			目標	5000	目標	5000	5000		5000	
			実績	4571	実績	4859	5000			

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)	
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額		
	[収入]	使用料・手数料								
		国費 (補助率)								
		県費 (補助率)	204	147						市町村自主運行バス等維持管理補助金
		地方債								
		その他	637	634	600	600	600	600	600	
		合計(A)	841	781	600	600	600	600	600	特記事項記入欄(積算基礎等)
	[支出]	事業費								
		消耗品費	8	10	9	9	9	9	9	
		印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	
		修繕費	0	0	20	20	20	20	20	
		運行業務委託料	4,441	4,410	4,510	4,510	4,510	4,510	4,510	
		その他事務経費								
		小計(B)	4,449	4,420	4,539	4,539	4,539	4,539	4,539	特記事項記入欄(有資格者の状況等)
人件費	正規職員	人数	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人		
		人件費	568	578	578	578	578	578	578	
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数	人	人	人	人	人	人		
		人件費								
	小計(C)	568	578	578	578	578	578	578		
	合計(D=(B+C))	5,017	4,998	5,117	5,117	5,117	5,117	5,117	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)	
[収支]	一般財源充当額(D-A)	4,176	4,217	4,517	4,517	4,517	4,517	4,517		
	(うち繰越金)									
	※前年度比	—	41	300	0	0	0	0		
	対象者あたり一般財源充当額									

事後評価	必要性	5. 市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業													
	有効性	※廃止したときの影響			達成度				※未達成事項記入欄			効率性		※事業を行うにあたって非効率な点(実施主体、システム等)	
		巡回バスを利用している市民の移動及び大山田小学校の児童の通学が不便となる。			(概ね)順調										
	関与の妥当性					協働の状況など									
	実施方法(該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)		負担金・補助金・交付金		委託・指定管理(非公募・随意)		直接実施(契約・交付事務を除く)		※委託内容及び委託先の存在		行政バスの運転及び車両の維持管理			
	昨年度記載した改善策	利用実態や利用者ニーズ、地域特性に応じたサービスの維持に努めながらバス利用のPRを時刻表の各戸配布等で促進する。適正な運行時間や経路等を整合していく。				左記改善策への取組状況		【状況】 【詳細】		計画のとおり進んでいる。					
										大山田小学校の児童の下校の時刻に合わせて、時刻改正を実施した(H24.6.1)。					
	現時点における課題及び課題に対する改善策	伊賀市交通計画施策にある経路変更について大山田支所管内は、1台の車両で3路線を運行しているため利用目的に合わせた有効な変更が必要である。													
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由												
	西口敏之	現状維持	伊賀市交通計画の施策に基づき時刻改正や経路変更を進める。												

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	会計	款	項	目	細目	細々目
	事業名	0083 行政バス運行経費				01	02	01	06	125	51	
	基本施策	51 市内交通機関の利便性を高める	所属		750100	名称	青山支所振興課 総務振興係		連絡先(記入者) 大岡 宏 52 - 1112			

概要	事業概要	廃止代替バス3路線(滝線・高尾線・霧生線)を運行する。				事業期間		平成 16 年度 ~ 平成 年度		
	根拠法令・要綱等	道路運送法、三重県バス運行対策費補助金交付要綱、伊賀市交通計画		審議会・委員会等		伊賀市交通計画協議会				
	補助金支出	<input type="checkbox"/> 有	※支出“有”の場合要綱を記入 三重県バス運行対策費補助金交付要綱				分掌事務番号	16		
	対象(誰を、何を)	公共交通機関の空白地域における市民を対象			※対象件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値
	成果(どうする)	公共交通機関の空白地域の生活交通手段の確保と高齢者をはじめとする交通弱者の移動手段の確保を図る。								
H24実施内容	廃止代替バス3路線(滝線・高尾線・霧生線)を運行する。滝線(片道10.1キロ)、高尾線(片道16.8キロ)、霧生線(片道13.3キロ)を一日3~5往復する。									

指標	活動指標	項目	単位	実績値		目標値		説明		
				H23	H24	H25	H26			
	成果指標	年間利用者数	人	目標	80,000	目標	70,000	70,000	70,000	乗車人数
				実績	66,565	実績	62,417			

コスト	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。										
	[収入]	項目	H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額	特記事項記入欄(特定財源の名称等)	
		使用料・手数料									
	国費 (補助率)										
	県費 (補助率)	2,479	1,879	0	0	0	0	0	0	三重県バス運行対策費補助金	
	地方債										
	その他										
	合計(A)	2,479	1,879	0	0	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)	
	[支出]	事業費	運行業務委託料	25,407	26,675	32,550	33,000	33,000	33,000	33,000	
		その他事務経費	0	50	51	51	51	51	51	51	
小計(B)		25,407	26,725	32,601	33,051	33,051	33,051	33,051	33,051	特記事項記入欄(有資格者の状況等)	
人件費		正規職員	人数	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人	
	人件費	1,705	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733		
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人		
	人件費	0	0	0	0	0	0	0	0		
	小計(C)	1,705	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733		
	合計(D=B+C)	27,112	28,458	34,334	34,784	34,784	34,784	34,784	34,784	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)	
[収支]	一般財源充当額(D-A)	24,633	26,579	34,334	34,784	34,784	34,784	34,784	34,784		
	(うち繰越金)	0	0	0	0	0	0	0	0		
	※前年度比	—	1,947	7,755	450	0	0	0	0		
	対象者あたり一般財源充当額										

必要性	4. 市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
効率性	※事業を行うにあたって非効率な点(実施主体、システム等)		
関与の妥当性	2. 利用者が減少するなど市民のニーズが低下、あるいは市民ニーズに比較してサービスの供給が過剰となっている事務事業	協働の状況など	なし
実施方法(該当するもの全て)	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理(公募・競争)	<input type="checkbox"/> 負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理(非公募・随意)	<input type="checkbox"/> 直接実施(契約・交付事務を除く)	三重交通株式会社
昨年度記載した改善策	伊賀市交通計画に記載された、青山行政バスの伊賀神戸駅乗り入れおよび大山田地区(布引地域)への延伸について、ダイヤ、便数、ルートなどを具体的課題を整理し、平成25年度からの実証実験運行を目指す。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。 平成25年6月から、ダイヤ、便数、停留所を見直し、大山田行政バスとの接続を行い、大山田地区(布引地域)への実証実験運行を行う。
現時点における課題及び課題に対する改善策	伊賀市交通計画に記載された、青山行政バスの伊賀神戸駅乗り入れを検討する。利用者の声を調査し、利便性の向上を図る。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	牧野 頼悌	現状維持	公共交通機関の空白地域における交通弱者、中高生の通学手段を確保することは必要不可欠である。

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	会計	款	項	目	細目	細々目
	0084	地方バス路線維持経費					01	02	01	06	125	52
	事業名	0084	地方バス路線維持経費	所属	040100	企画財政部企画課 地域政策係	連絡先(記入者)			久保 敦美 22 - 9621		
基本施策	51	市内交通機関の利便性を高める										

概要	事業概要	・不採算路線である市町村自主運行バス(廃止代替バス)7路線の運行継続を図る。				事業期間				
						平成 24 年度 ~ 平成 24 年度				
	根拠法令・要綱等	・道路運送法第4条				審議会・委員会等	・伊賀市地域公共交通会議、伊賀市交通協議会			
	補助金支出	※支出“有”の場合要綱を記入				分掌事務番号				
	対象(誰を、何を)	・事業者が廃止したバス路線の沿線地域住民等				※対象件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込
成果(どうする)	・日常の生活交通を確保して、通院、通学等の交通手段を確保する。									
H24実施内容	・予野線、諏訪線、西山線、友生線、島ヶ原線、月瀬線、柘植線の7路線についての運行を三重交通株式会社へ委託する。									

指標	項目	単位	実績値		目標値		説明	
			H23	H24	H25	H26		
	活動指標	1日あたりの運行便数	便	目標 90.0 実績 91.0	目標 90.0 実績 91.0	90.0	90.0	
	成果指標	年間利用者数	人	目標 200,000.0 実績 165,495.0	目標 200,000.0 実績 163,185.0	200,000.0	200,000.0	

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)	
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額		
	使用料・手数料	45,412								
	国費 (補助率)									
	県費 (補助率 0.6%)	7,537	5,774	3,850	0	0	0	0	25年度で補助金の廃止	
	地方債									
	その他									
	合計(A)	52,949	5,774	3,850	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)	
	事業費	経常経費	115,105	77,335	78,542	78,000	78,000	78,000	78,000	・経常経費から経常収入を引いた額が、運行委託料となる。
		その他事務経費		6,050						
小計(B)		115,105	83,385	78,542	78,000	78,000	78,000	78,000	特記事項記入欄(有資格者の状況等)	
人件費										
人件費	正規職員	人数	0.5 人	0.5 人	0.5 人	0.5 人	0.5 人	0.5 人	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)	
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数	人	人	人	人	人	人		
	人件費	2,841	2,889	2,889	2,889	2,889	2,889	2,889		
小計(C)	2,841	2,889	2,889	2,889	2,889	2,889	2,889			
合計(D=(B+C))	117,946	86,274	81,431	80,889	80,889	80,889	80,889	80,889		
[収支]	一般財源充当額(D-A)	64,997	80,500	77,581	80,889	80,889	80,889	80,889		
	(うち繰越金)									
	※前年度比	—	15,503	△ 2,919	3,308	0	0	0		
対象者あたり一般財源充当額	392.7	434.8	446.7	470.3	—	—	—			

事後評価	必要性	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
	有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
	・自ら移動手段を持たない高齢者などの日常生活に支障がある。	(概ね) 順調		
	効率性	※事業を行うにあたって非効率な点(実施主体、システム等)		
		道路運送法上、路線認可を受けた事業者でないと、輸送業務が出来ないため、現状では三重交通株式会社の独占となり競争が発生しない。		
	関与の妥当性	利用者が減少するなど市民のニーズが低下、あるいは市民ニーズに比較してサービスの供給が過剰となっている事務事業	協働の状況など	・伊賀市交通計画に基づき、伊賀市地域公共交通会議を経て、運行委託業者、運行路線地域、タクシー事業者、自治会組織と今後の伊賀市の交通システムについて検討する。
	実施方法(該当するもの全て)	<input type="radio"/> 委託・指定管理(公募・競争)	<input type="checkbox"/> 負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理(非公募・随意)	<input type="checkbox"/> 直接実施(契約・交付事務を除く)	【指名競争入札】 三重交通株式会社	
昨年度記載した改善策	・市民ニーズに応じた運行ルート等の変更内容や、それにとまなう費用対効果を分析し、「使えるバス」として、見直しを行い、今後の、平成27年度に策定する伊賀市交通計画への盛り込む事項について検証していく。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。 ・平成24年12月21日伊賀市地域公共交通会議において、柘植線の運行効率の向上、新堂駅南口にける乗り継ぎ拠点化、行政サービス巡回車との競合を解消するため、「新田」~「柏野」間、「新堂駅南口」~「伊賀支所」間を廃止する事で協議が調う。(平成25年6月1日から運行変更開始予定)	
現時点における課題及び課題に対する改善策	・学生や高齢者など自ら交通手段を持たない人たちの重要な移動手段であるが、利用者の減少傾向が続いていることから、利用者ニーズに対応したルート変更やダイヤ変更に着手し、年間輸送人員及び収支率の改善に努める必要がある。			
今後の方向性	担当課長氏名	藤山 善之	理由	
	方向性	現状維持	・次期交通計画(H27~H31)に位置付ける市内交通体系の方向性を探るべく、平成25年度中にニーズ調査を行う。	

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	会計	款	項	目	細目	細々目
	0085	地域交通対策事業					01	02	01	06	125	53
	事業名	0085	地域交通対策事業									
基本施策	51	市内交通機関の利便性を高める	所属									
					040100	企画財政部企画課 地域政策係	連絡先(記入者) 久保 敦美 22 - 9621					

概要	事業概要	・公共交通空白地域又はにおいて、住民の生活交通を確保するため地域住民が自主的に運営する事業に対し、運行にかかる経費の一部を補助する。						事業期間								
								平成 24 年度	～	平成 24 年度						
	根拠法令・要綱等	道路運送法第79条				審議会・委員会等										
	補助金支出	有 <input type="checkbox"/> ※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号								
	対象(誰を、何を)	・公共交通利用不便地区における移動手段の確保				※対象件数		単位		H23実績		H24実績		H25見込		H26目標値
成果(どうする)	・伊賀市交通計画に基づき、住民と行政が支えあう形で、公共交通利用不便地区の解消を図る。															
H24実施内容	・市が市町村運営有償運送の許可を取得し、公共交通利用不便地区である比自岐地区において運行するコスモス号の運行を比自岐コスモス号運行連絡協議会に委託した。 ・名張市美旗地域コミュニティバス運行審議会が自主運行するコミュニティバス「はたっこ号」の本市きじが台地区への乗り入れ運行について、きじが台地区住民自治協議会に対し運行補助金を支出した。															

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明
			H23	H24	H25	H26			
	活動指標	・比自岐コスモス号の一日あたりの運行便数	便	目標 12.0 実績 12.0	目標 12.0 実績 12.0	12.0	12.0		
	成果指標	・比自岐コスモス号の年間乗車人数	人	目標 1,800.0 実績 1,799.0	目標 1,800.0 実績 1,883.0	1,800.0	1,800.0	微増	

コスト	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。																						
	項目	H23決算額								H24決算額		H25当初額		H26計画額		H27計画額		H28計画額		H29計画額		特記事項記入欄(特定財源の名称等)	
		使用料・手数料			373		400		400		300		300		300		300		300		300		
	国費(補助率)																						
	県費(補助率0.6%)	567		444		296		0		0		0		0		0		0		0		25年度で補助金の廃止	
	地方債																						
	その他																						
	合計(A)	567		817		696		400		300		300		300		300		300		300		特記事項記入欄(積算基礎等)	
	[支出]	事業費	運行委託料(比自岐)	1,895		1,923		1,950		1,950		1,950		1,950		1,950		1,950		1,950			・運賃収入は市の収入となり、その収入分を乗車実績委託料として還元している。 ・基本委託料1,550,000円 + 乗車実績委託料 ・H24年度から「きじが台」乗り入れに係る補助金
			その他事務経費																				
小計(B)			1,895		1,923		1,950		1,950		1,950		1,950		1,950		1,950		1,950		1,950		特記事項記入欄(有資格者の状況等)
人件費																							
[収支]	正規職員	人数	0.1人		0.1人		0.1人		0.1人		0.1人		0.1人		0.1人		0.1人		0.1人				
		人件費	568		578		578		578		578		578		578		578		578		578		
		臨時・嘱託・再雇用職員																					
[収支]	合計(D=B+C)	人数	人		人		人		人		人		人		人		人		人				
		人件費	568		578		578		578		578		578		578		578		578		578		
		合計(D=B+C)	2,463		2,501		2,528		2,528		2,528		2,528		2,528		2,528		2,528		2,528		特記事項記入欄(歳入確保の取組等)
[収支]	一般財源充当額(D-A)	うち繰越金	1,896		1,684		1,832		2,128		2,228		2,228		2,228		2,228		2,228		2,228		
		※前年度比	—		△ 213		148		296		100		0		0		0		0		0		
		対象者あたり一般財源充当額																					

事後評価	必要性	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業															
	有効性	※廃止したときの影響			達成度				※未達成事項記入欄			効率性			※事業を行うにあたって非効率な点(実施主体、システム等)		
		・自ら移動手段を持たない高齢者などの日常生活に障害がある。			(概ね)順調												
	関与の妥当性					協働の状況など			・継続的な運行や利用者の確保のため、助言や指導等を行った。								
	実施方法(該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)			○			負担金・補助金・交付金			※委託内容及び委託先の存在			・比自岐コスモス号運行連絡協議会			
		委託・指定管理(非公募・随意)						直接実施(契約・交付事務を除く)									
	昨年度記載した改善策	・地域での自主運行も視野に入れ、引き続き安定した運行運営が行えるよう、昨年度より利用者数を増加させる。(比自岐地区)				左記改善策への取組状況			【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。 ・昨年度より利用者が微増 ・また、行政サービス巡回車の運行及び管理に関する条例を改正し、新たに比自岐コスモス号に条例の根拠を持たせ、運賃体系等の統一を図った。								
	現時点における課題及び課題に対する改善策	・学生や高齢者など自ら交通手段を持たない人たちの重要な移動手段であり、引き続き安定した運行運営が行えること。															
	今後の方向性	担当課長氏名		方向性		理由											
		藤山 善之		現状維持		・比自岐コスモス号は、市の運行業務委託の形態をとるが、実質的には比自岐地区で支える意識のもとにバス運行を行っている。きじが台地区の例も隣市の地域運行バスの乗り入れであるが、地元地域が自主的に取り組む運行形態であり、モデルケースとしていきたいため。											